

# 神戸市水上消防署歴史年表(昭和期)






20130306

年 (西暦)	消防組織制度の変遷、行事施策など	消防艇、消防車両の配備など	神戸港でのできごと
大正十五年、昭和元年 (1926年)	(12月)元号が12月25日に「大正」から「昭和」に改元される		(3月)神戸有馬電気鉄道(現神戸電鉄)設立  (12月)和田岬沖で「第二十八共同丸」が汽船と衝突、数名溺死
昭和二年 (1927年)	(7月)消防協会設立		(7月)「神戸市生糸検査所(現デザインクリエイティブセンター神戸)」開設  (9月)神戸港に竜巻発生  (12月)三井棧橋竣工
昭和三年 (1928年)			(3月)神戸船主会発足
昭和四年 (1929年)			(2月)中突堤着工
昭和五年 (1930年)			(6月)兵庫第二突堤完成
昭和六年 (1931年)			(2月)垂水沖で尼崎汽船「菊水丸」がフランス船と衝突沈没、乗客乗員101名中死者28名  (11月)神戸港沖合に小竜巻起こる
昭和七年 (1932年)	(5月)市内に100台の火災報知器が設置される		(11月)兵庫第一突堤完成
昭和八年 (1933年)			(10月)明石海峡で大阪商船「屋島丸」が台風により沈没、乗客乗員122名中死者66名  (11月)第一回みなと祭り開催
昭和九年 (1934年)	(6月)「火防組合規則」が施行		(9月)室戸台風襲来
昭和十年 (1935年)	(10月)日本水難救済会兵庫支部(支部長は兵庫県知事)が神戸港救難所を創設し、所長(神戸水上警察署長が兼務)、救助長、看守長、組長、船長、機関長、看守、救助手、医師からなる計41名の組織で発足		
昭和十一年 (1936年)		(6月)新鋭汽艇の救助艇「たちばな(木造船19・69t)」が神戸港救難所に配備され、船名は2,945通の応募から選ばれる(写真は消防署ロビーに展示している初代たちばなのスクリーン)	(3月)中突堤完成
昭和十二年 (1937年)			(3月)和田岬防波堤完成



昭和十三年 (1938年)			(7月)阪神大水害発生
昭和十四年 (1939年)	(4月)警防団令に基づき、警防団が発足(=消防組の歴史の終焉)、神戸港には水上警察署のもとに水上警防団を設置。		(11月)小野浜駅を神戸港駅と改称し一般貨物の取扱を開始
昭和十五年 (1940年)	(12月)戦時体制強化のため、市内の消防署は二署新設による四署体制となり、東消防署は、京橋消防署に改称		
昭和十六年 (1941年)	(1月)京橋消防署に、地方警視にあたる県下初の地方消防司令が配置される		(7月)「海の記念日」創設  (10月)石炭を積載した舢7隻が暴風雨により沈没、死者4名
昭和十七年 (1942年)		(4月)兵庫県警にて初代消防艇「くすのき(鋼鉄船19・99t)」建造(写真は消防署ロビーに展示している初代くすのきの舵輪)	(4月)太平洋戦争で米軍機が神戸港を初空襲
昭和十八年 (1943年)			(11月)運輸通信省神戸海運局(現国土交通省神戸運輸監理部)設置、神戸税関を統合閉鎖
昭和十九年 (1944年)			(8月)小学校集団疎開始まる
昭和二十年 (1945年)	(5月)一区一署とするため、市内の消防署は二署新設による六署体制となり、京橋消防署は生田消防署に改称  (7月)兵庫県下の防空体制を強化するため市内六消防署のうち、三署が伊丹、明石、姫路に配置転換され、残った生田消防署は神戸中大隊となる	(8月)終戦とともに初代消防艇「くすのき(鋼鉄船19・99t)」を進駐軍が接収	(1月)B29(1機)による神戸初空襲  (10月)神戸港内の掃海着手
昭和二十一年 (1946年)	(2月)神戸中大隊は、神戸中消防署として消防署組織に復帰し、市内消防署は三署体制となる		(6月)神戸税関再開
昭和二十二年 (1947年)	(4月)勅令をもって「消防団令」が公布され、水上警防団は水上消防団として発足、団本部を港湾局に設置  (8月)戦後の消防署再配置のため、三署体制から、生田消防署(生田区中山手通7丁目の分団詰所を利用)、長田消防署が新設されて、五署体制となり、生田消防署は生田区一円と神戸港一帯を管轄区域とした  (9月)生田消防署を中突堤の連合軍兵舎に移転		(5月)神戸港内の掃海終了  (7月)解体船で爆発事故、死者6名、負傷者3名
昭和二十三年 (1948年)	(3月)消防組織法の施行に伴い、消防組織は警察組織から分離されて市町村消防体制が発足し、神戸市消防局が誕生、併せて水上消防団事務を港湾局から生田消防署へ移管する  (5月)生田消防署を生田区明石町34番地に新築移転(写真は昭和48年4月まで開設していた本署庁舎、隣接するビルは震災まで現存した「明海ビル」)		(5月)「神戸海上保安本部」設置  (7月)港則法が公布



<p>昭和二十四年 (1949年)</p>	<p>(5月)消防本部を設置していた121都市の消防長を会員として「全国都市消防長連絡協議会(のちの全国消防長会)」が設立される</p>	<p>(8月)救助艇「たちばな(昭和10年10月建造)」が日本水難救済会兵庫支部より生田消防署に無償貸与され、消防艇の機能追加のため修理、艀装を実施</p>	
<p>昭和二十五年 (1950年)</p>	<p>(3月)昭和23年の市町村消防発足を記念し、3月7日を「消防記念日」に制定</p>  <p>(4月)生田消防署に水上消防隊を設置、神戸港一円を管轄する。ここに水上消防署の歴史が始まる</p>	<p>(4月)消防艇艀装を完了し、生田消防署水上消防隊に初代消防艇「たちばな(木造船19・69t)」が就航、兵庫突堤「国際倉庫」火災に消防艇として初出動</p>  <p>(7月)消防本部から消防署に対して指令する一斉指令装置導入</p> 	<p>(3月)神戸博(日本貿易作業博覧会)開催</p> <p>(4月)兵庫区築地町兵庫突堤国際倉庫で倉庫火災</p> <p>(6月)「第五管区海上保安本部」設置</p> <p>(9月)ジェーン台風襲来</p> <p>(9月)米国軍用船「ヌンデー号(10,000t)」船舶火災</p> <p>(10月)「出入国管理庁神戸出張所(のちの神戸入国管理事務所、現大阪入国管理局神戸支局)」設置</p>
<p>昭和二十六年 (1951年)</p>			<p>(4月)神戸市が港湾管理者となる</p> <p>(7月)ケイト台風襲来</p> <p>(9月)神戸港が特定重要港湾に指定される</p>
<p>昭和二十七年 (1952年)</p>	<p>(8月)神戸市消防旗規程が施行され、消防章を制定</p> 		<p>(3月)「農林水産省動物検疫所神戸支所」設置</p> <p>(4月)神戸放送(現ラジオ関西)開局</p> <p>(7月)兵庫区東出町3丁目大正造船前で米国陸軍冷凍船「BCS 3551号(80t)」船舶火災、死者5名、負傷者2名</p>
<p>昭和二十八年 (1953年)</p>	<p>(10月)消防士気の昂揚と情操を培うため「神戸市消防歌」を制定、作曲は消防音楽隊楽長永野善三郎、作詩(補作)は富田碎花による</p>	<p>(2月)初代消防艇「くすのき(鋼鉄船19・99t)」が進駐軍から神戸市へ返還され、生田消防署水上消防隊に就航</p> 	<p>(6月)台風2号襲来</p> <p>(9月)東部工区埋立着工</p> <p>(9月)台風13号襲来</p>
<p>昭和二十九年 (1954年)</p>			<p>(8月)新港第八突堤(双子式)着工</p>
<p>昭和三十年 (1955年)</p>	<p>(1月)昭和24年発生した世界最古の木造建築物法隆寺の金堂焼失に由来して1月26日を「文化財防火デー」に制定</p> <p>(3月)神戸市民生活協同組合設立</p>		<p>(11月)生田区新港町第3突堤でデンマーク船籍汽船「エランマークス号」船舶火災</p>
<p>昭和三十一年 (1956年)</p>			<p>(11月)生田区波止場町12神戸センタービルで建物火災、約1100㎡焼損</p>

昭和三十二年  
(1957年)

(6月)生田区波止場町2(中突堤南端)に分署長以下17名、消防艇2艇、乗用車1台で組織する生田消防署水上消防分署を設置し、神戸港一円を管轄する(写真は当時の神戸港)



(5月)消防本部に管制指令システムを導入し、消防署に対し無線指令を行う



(2月)葺合区小野浜町1丁目5番三井小野浜倉庫で倉庫火災、約1100㎡焼損

(4月)神戸市役所花時計始動



(8月)生田区波止場町国産波止場で機帆船「朝春丸(160t)」船舶火災

(8月)兵庫区和田崎町第5岸壁でノルウェイ船籍貨物船「シグラランド号(14150t)」船舶火災、負傷者7名

(10月)シアトル市と姉妹都市提携

昭和三十三年  
(1958年)

(6月)分署に司令車を配備

(10月)分署に可搬式動力ポンプを配備

(2月)生田区新港町第4突堤で機帆船「日高丸(178t)」船舶火災

(2月)兵庫区和田崎町第2岸壁でイギリス船籍貨物船「オブラ号(5695t)」船舶火災

(3月)生田区新港町第4突堤でアメリカ船籍貨物船「ドリーターマン号(6103t)」船舶火災

(3月)葺合区小野浜町第7突堤でノルウェー船籍貨物船「ボーグホルト号(5667t)」船舶火災

(5月)深海潜水艦「バチスカーフ号」神戸港着

(9月)「神戸港振興協会」設立

(9月)神戸高速鉄道株式会社発足

(11月)葺合区浜辺通地先第6突堤Z岸壁でフィリピン船籍「ルイス号(3806t)」船舶火災

昭和三十四年  
(1959年)

(1月)新港第4突堤で消防出初式を開催



(5月)生田消防署水上消防分署を水上消防署に昇格させ、生田区波止場町(中突堤A上屋)に庁舎を設置、神戸港一円を管轄する

(4月)分署に連絡車、軽二輪車を配備



(2月)長田区駒栄町3丁目大阪ガス岸壁で機帆船「叶丸(224t)」船舶火災

(3月)生田区波止場町中突堤4号上屋東岸壁で貨物船「金栄丸」で積荷の花火爆発事故、死者3名、負傷者2名

(4月)摩耶埠頭着工

(4月)灘区灘浜町出光興産岸壁で被曳船「第八鳴丸(267t)」船舶火災

(9月)伊勢湾台風襲来

(9月)葺合区浜辺通2丁目三井棧橋で貨物船「多聞丸(7713t)」船舶火災

(9月)生田区新港町第4突堤R岸壁でイギリス船籍貨物船「カルマラ号(7600t)」船舶火災

(5月)神戸市水上防火協会発足(写真は防火協会総会)



(7月)生田区波止場町2の3(メケン波止場B上屋)に水上消防署を移転し、開所式を挙



昭和三十五年  
(1960年)

(7月)防火管理者制度発足

(9月)大正12年に発生した関東大震災に由来して9月1日を「防災の日」に制定

(11月)秋の火災予防運動を実施

(11月)メケン波止場観光船待合所にて消防訓練を実施



(4月)本署に原動付自転車を配備

(5月)第二代快速消防艇「たちばな(鋼船19・5t)」就航

(6月)本署前にて第二代快速消防艇「たちばな」の入魂式を開催(写真は原口市長)



(1月)生田区東川崎町2丁目第1ドックでイギリス船籍貨物船「S.S. ウェストウインド号(4998t)」船舶火災

(4月)生田区東川崎町東岸壁で貨物船「喜山丸」船舶火災

(7月)市立須磨ヨットハーバー竣工

(8月)台風16号襲来

(8月)生田区新港町第4突堤で貨物船「長門丸(8500t)」船舶火災

(9月)兵庫区築地町兵庫第1突堤で貨客船「乙女丸(345t)」船舶火災

(10月)兵庫区西出町で貨物船「清澄丸(760t)」船舶火災

(11月)兵庫区和田崎町第5岸壁で貨物船「ジャラキリチ号(6400t)」船舶火災

昭和三十六年  
(1961年)

(7月)水上警察、海上保安庁、海運局、港総局との総合消防救助訓練を実施



(6月)波止場町で警察警備艇「あわじ」とともに係留される「初代くすのき」、予備艇となった「初代たちばな」と「第二代たちばな」、背景にあるビルは神戸税関港務部、逓信省海事部、神戸水上警察署が入居する「ポートビル」



(3月)兵庫区築地町兵庫第1突堤で舢舨「108号(300t)」船舶火災、負傷者9名

(4月)兵庫区築地町兵庫第2突堤で貨客船「フェーニン号(4250t)」船舶火災

(6月)兵庫区東出町2丁目岸壁で油槽船「大成丸(152t)」船舶火災

(7月)マルセイユ市と姉妹都市提携

(9月)第2室戸台風襲来

(10月)兵庫区川崎町埋立地でサルベージ船「第三共丸」船舶火災

昭和三十七年  
(1962年)

(6月)生田区高浜岸壁にて消防団合同水防訓練を実施



(10月)本署に消防ポンプ自動車「消防916」を配備

(1月)葺合区川崎製鉄前岸壁で油槽船「第15あさひ丸(200t)」船舶火災

(2月)兵庫区西出町第三ドック西側でアメリカ船籍貨物船「日富士丸(2095t)」ガス漏洩事故、死者1名負傷者16名

(4月)葺合区小野浜町第6突堤X岸壁でアメリカ船籍貨物船「インディアベアー号」船舶火災、負傷者1名

(4月)兵庫区築地町兵庫第1突堤G岸壁で貨物船「イースタンザカ号」船舶火災

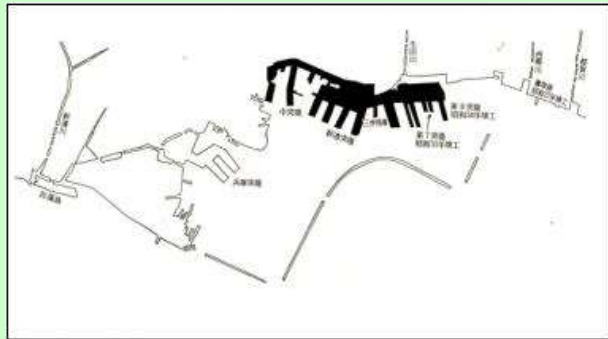
(3月)水上消防署管轄区域の神戸港一円に、葺合区、生田区の国鉄臨港線以南の地域(神戸港駅等を除く)、東川崎町1丁目の一部を加え、初めて陸上区域を管轄することとなる(地図は、陸上区域の管轄部分)

(12月)本署に消防タンク自動車「消防926」を配備

(1月)兵庫区築地町兵庫第2突堤Q岸壁でフィリピン船籍貨物船「マクタン号(3805t)」船舶火災

(2月)旅客船「ときわ丸(238t)」と貨物船「りっちもんど丸(9,547t)」が和田岬4.3km沖で衝突、死者47名

昭和三十八年  
(1963年)



(3月)春の火災予防運動を実施(写真はメリケン波止場に掲げる横断幕)



(4月)救急業務が法制化

(6月)定期的に本署屋上にて通常点検を実施



(7月)水難救助訓練に初めてヘリコプターが参加する



(8月)神戸海上保安部と「船舶消防に関する業務協定」を締結

(8月)神戸市港湾地区自衛消防隊連絡協議会発足

昭和三十九年  
(1964年)

(7月)「海の記念日」にメリケン波止場沖で消防訓練を実施



(12月)本署の消防ポンプ自動車「消防926」を更新

(2月)葦合区小野浜町第6突堤W岸壁でアメリカ船籍貨物船「ペイオニアミスト号(9213t)」船舶火災  
(4月)兵庫区匠町兵機海運前岸壁で機帆船「協栄丸(174t)」船舶火災  
(6月)兵庫区和田崎町第6岸壁でパナマ船籍油槽船「エッソクリストバル号(35000t)」船舶火災  
(10月)葦合区小野浜町三井栈橋で貨物船「タイチュン号(4016t)」船舶火災  
(11月)葦合区小野浜町第5突堤でアメリカ船籍貨物船「オレゴンメール号(7875t)」船舶火災

(11月)神戸ポートタワー竣工  
(写真は竣工当時の神戸港)



(11月)灘区摩耶埠頭で起重機船「鉄拐号(450t)」船舶火災

(1月)深海作業船「よみうり号(35t)」が兵庫区和田崎町3丁目にて船舶火災、死者2名、負傷者1名  
(3月)生田区新港町第2突堤H岸壁で貨物船「ベル丸(8347t)」船舶火災  
(8月)灘区灘浜町出光興産岸壁で油槽船「幸徳丸(798t)」船舶火災、負傷者3名  
(9月)台風20号襲来、舢など53隻沈没  
(11月)兵庫区築地町兵庫第2突堤R岸壁でインドネシア船籍貨物船「ジャジャプラタマ号(3856t)」船舶火災

(11月)中突堤で消防訓練を実施



(1月)摩耶埠頭沖にて水上警察、海上保安庁、消防団との合同訓練を実施(NHK放映)



(3月)本署の消防ポンプ自動車「消防916」を更新、自動二輪車を配備



(2月)生田区新港町第4突堤で貨物船「日産丸(6783t)」船舶火災

(3月)長田港2海里沖で貨物船「第五蛭子丸(95t)」が強風により沈没

(3月)生田区波止場町中突堤で客船「あわじ丸(500t)」船舶火災

(4月)葺合区小野浜町第6突堤Z岸壁でデンマーク船籍貨物船「ロバートマークス号」船舶火災、負傷者1名

(7月)兵庫区和田崎町3丁目4番ドックで台湾船籍貨物船「仁海号(3209t)」船舶火災

(9月)台風23、24号襲来(写真は埠頭に押し上げられた舢)



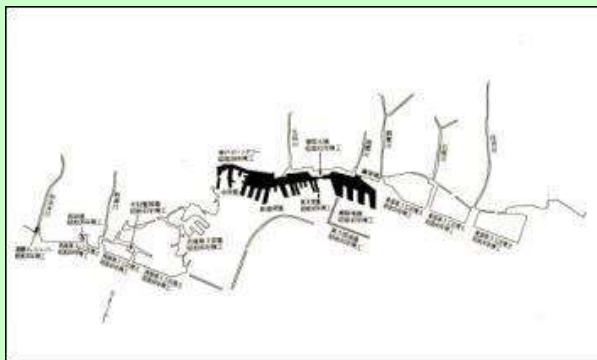
(10月)兵庫第三突堤竣工

(11月)兵庫区和田崎町3丁目4番ドックでノルウェー船籍貨物船「プラナ号(12600t)」が船舶火災、死者1名、負傷者3名

(12月)葺合区小野浜町第7突堤A岸壁でカナダ船籍貨物船「メール号(12716t)」船舶火災

昭和四十年  
(1965年)

(4月)水上消防署管轄区域に灘区摩耶埠頭を加える(地図は、摩耶埠頭追加後の管轄区域)



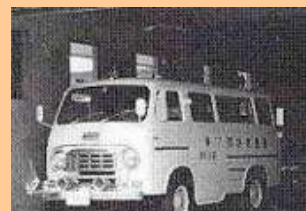
(4月)初代消防艇「たちばな」が休船となり、接岸用栈橋兼乗組員宿泊施設となる

(7月)初代消防艇「たちばな」が芦屋浜に曳航され、解体

(7月)各消防署に出動を指令する消防本部の管制指令システムを更新



(10月)京橋出張所に救急車「消防99」を配備



(1月)葺合区脇浜町3丁目川鉄岸壁で貨物船「第3東丸(352t)」船舶火災

(2月)東灘区魚崎町魚崎港岸壁で機帆船「第11若栄丸(116t)」船舶火災

(3月)葺合区小野浜町第6突堤W岸壁でアメリカ船籍貨物船「ペリカNSTEAT号(7613t)」船舶火災、死者1名、負傷者1名

(4月)運輸省第三港湾建設局が防波護岸にポートアイランド造成事業を着工

(5月)生田区新港町第4突堤基部三井倉庫新港営業所で建物火災約2400㎡焼損

(6月)兵庫区和田崎町3丁目第6岸壁で貨物船「ゴーラパトリア号(17700t)」が船舶火災

(6月)摩耶大橋開通



昭和四十一年  
(1966年)

(5月)阪神高速道路の建設に伴い、消防艇繫留場所が移転され、隊員詰所を京橋西工区205号橋脚北側に設置する



(10月)生田区新港町2番地に水上消防署京橋出張所を設置、新たに救急業務を開始、阪神高速道路公団と業務協定締結、阪神高速道路の京橋ランプから柳原ランプ間にも救急出動



(11月)生田区新港町第2突堤H岸壁で貨物船「安土山丸(6758t)」船舶火災  
(12月)兵庫区築地町兵庫第1突堤で貨物船「楠丸(395t)」船舶火災

昭和四十二年  
(1967年)

(4月)第二代化学消防艇「くすのき(鋼船 36・61t)」就航、第二代快速消防艇「たちばな」が予備艇となる



(5月)初代消防艇「くすのき」休船

(1月)神戸港沖で砂利運搬船「住徳丸(158t)」とリベリア船籍貨物船「オリエンタル・バンカー号(7,993t)」が衝突、死者4名  
(1月)灘区摩耶埠頭第2突堤I岸壁でイギリス船籍貨物船「チンコワ号(7102t)」船舶火災  
(1月)灘区灘浜町神戸製鋼所KS岸壁で香港船籍貨物船「アビコ号(7086t)」船舶火災  
(3月)摩耶埠頭竣工  
(3月)葺合区小野浜町三井栈橋でイギリス船籍貨物船「チンコワ号(7102t)」船舶火災  
(4月)兵庫区築地町兵庫第2突堤Q岸壁で貨物船「レイ号(5,309t)」船舶火災  
(5月)シアトル港、ロッテルダム港と姉妹港提携  
(5月)神戸開港百年祭  
(5月)生田区新港町第4突堤Q岸壁で貨物船「ベンゲル丸(11616t)」船舶火災  
(7月)42年7月豪雨  
(7月)灘区摩耶埠頭第3突堤で西ドイツ船籍貨物船「イザールステイン号(6900t)」船舶火災  
(9月)兵庫区築地町兵庫第1突堤でフィリピン船籍貨物船「マノロエバレット号(5,853t)」が船舶火災

(1月)摩耶埠頭で消防出初式を開催



(4月)大阪消防双胴船「ときわ丸」が建造を記念して神戸港を表敬訪問



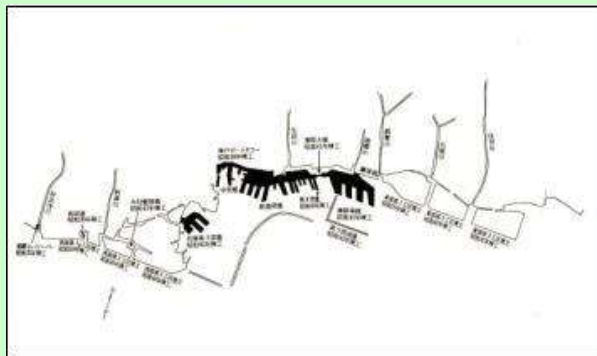
(3月)兵庫区築地町兵庫第2突堤住友倉庫兵庫営業所で倉庫火災  
(4月)兵庫区築地町兵庫第1突堤神戸関汽港運で倉庫火災負傷者2名  
(4月)兵庫区築地町兵庫第2突堤M上屋で倉庫火災約1000㎡焼損、負傷者1名  
(4月)神戸高速鉄道開通  
(5月)兵庫区西出町第三ドックで冷凍運搬船「大島丸(1500t)」船舶火災、負傷者1名

(3月)水上消防署管轄区域に兵庫区の兵庫突堤を加える(地図は、兵庫突堤追加後の管轄区域)

(5月)京橋出張所廃止に伴い、救急車「消防99」を本署に配置替



昭和四十三年  
(1968年)



(12月)本署に初代救急救艇「水光(FRP船 4・9t)」就航、消防艇が三艇体制に強化



(10月)ポートアイランド起工式開催

(5月)水上消防署京橋出張所廃止

(5月)神戸市水上地区自衛消防隊連絡協議会設立、神戸市港湾地区自衛消防隊連絡協議会廃止

(7月)阪神高速道で消防訓練を実施



(11月)ラジオ関西「ダイヤル119」放送開始

(5月)本署に査察広報車、消防ポンプ自動車「消防93」を配備

(6月)本署の救急車「消防99」を更新

(1月)灘区摩耶埠頭第1突堤で貨物船「明寿山丸(8687t)」船舶火災

(2月)葺合区小野浜町地先神戸市港湾局サイロで倉庫火災、負傷者4名

(5月)リオネジャネイロ市と姉妹都市提携

(5月)サンテレビ開局

(8月)兵庫区遠矢町神戸灯台沖500mで韓国船籍貨物船「第一北海丸(415t)」が船舶火災、死者4名、負傷者3名

(10月)葺合区小野浜町第6突堤川西倉庫第6突堤営業所で倉庫火災

(10月)生田区新港町第1突堤C岸壁でイギリス船籍貨物船「サルメラ号(8940t)」船舶火災

(11月)葺合区小野浜町第6突堤Y上屋で倉庫火災

昭和四十四年  
(1969年)

(7月)水上消防署本署でポートアイランドの予防査察事務、警防事務を開始

(5月)本署に普通ポンプ自動車「消防92」を配備





(2月)兵庫区築地町兵庫突堤1岸壁でインド船籍貨物船「ステートオブラバンコーアコーチン号(6244t)」船舶火災



(4月)神戸大橋開通、ポートターミナル完成






昭和四十五年  
(1970年)

				<p>(7月)ポートアイランドコンテナ第1バースにコンテナ船「パナマ号(17192t)」が第1船として入港</p> <p>(7月)灘区摩耶埠頭第1突堤D岸壁で貨物船「バジェバ号(8220t)」船舶火災</p> <p>(9月)東神戸フェリー埠頭完成</p> <p>(10月)東灘区深江浜町内買埠頭北岸壁で浚渫船「第10芳祥号(593t)」船舶火災</p>
--	--	--	--	--

<p>昭和四十六年 (1971年)</p>	<p>(4月)水上消防署本署に消防科学研究室(後の神戸市消防科学研究所)を設置</p>  <p>(6月)第4工区で海上タンカー火災訓練を実施</p> <p>(8月)神戸海上保安部との「船舶消防に関する業務協定」を改定</p>	<p>(5月)本署に査察広報車を配備</p> 	<p>(3月)神戸港S1錨地付近で貨物船「月島丸(1170t)」船舶火災</p> <p>(3月)生田区新港町第3突堤K岸壁で中国船籍貨物船「ハイエイ号(10958t)」船舶火災</p> <p>(5月)神戸港第6番ブイ付近でパナマ船籍貨物船「リライアンスダイナスティー号(7723t)」船舶火災</p> <p>(6月)灘区摩耶埠頭第2突堤基部杉村倉庫摩耶営業所で倉庫火災</p> <p>(9月)生田区東川崎町2丁目で貨物船「ヤルター号(150,000t)」が船舶火災、死者1名、負傷者1名</p>
---------------------------	---	--	---

<p>昭和四十七年 (1972年)</p>	<p>(3月)水上消防署の次長制を改め、副署長制を設ける</p>  <p>(6月)神戸港内で防災総合訓練を実施</p>	<p>(4月)本署に査察広報車を配備</p> 	<p>(2月)灘区摩耶埠頭第1突堤沖500mでパキスタン船籍貨客船「シヤムス号(8929t)」船舶火災、負傷者1名</p> <p>(6月)生田区東川崎町北浜岸壁でリベリア船籍貨物船「パシフィックディフェンダー号(12252t)」船舶火災</p> <p>(11月)兵庫区築地町兵庫第3突堤で機帆船「第5宝永丸(159t)」船舶火災、負傷者1名</p> <p>(12月)六甲アイランド着工</p>
---------------------------	--	--	--

<p>昭和四十八年 (1973年)</p>	<p>(3月)水上消防署本署に管理係を設置</p>	<p>(4月)本署の消防ポンプ自動車「消防93」を「消防922」に更新</p> 	<p>(3月)神戸港第9番ブイ付近でスウェーデン船籍貨物船「スターベトトリックス号(6493t)」船舶火災</p> <p>(4月)葺合区脇浜町生田川河口付近で廃液運搬船「栄丸(492t)」船舶爆発、負傷者4名</p> <p>(6月)天津市と友好都市提携</p> <p>(6月)生田区東川崎町高浜B岸壁でデンマーク船籍貨物船「ハータマースク号(3228t)」船舶火災</p> <p>(7月)灘区摩耶埠頭で機帆船「住勢丸」66tが船舶火災</p> <p>(7月)葺合区小野浜町第8突堤E岸壁で貨物船「はんぷとん丸(9071t)」船舶火災、負傷者1名</p> <p>(10月)兵庫区和田岬沖6kmでパナマ船籍貨物船「フォーチュンランナー号(2600t)」船舶火災</p>
---------------------------	---------------------------	--	--

<p>昭和四十九年 (1974年)</p>	<p>(6月)ポートアイランドで船舶火災総合訓練を実施</p> 	<p>(2月)本署の救急車「消防99」を「消防209」に更新</p> 	<p>(5月)生田区東川崎町1丁目三菱倉庫高浜営業所4号レング倉庫、5号レング倉庫、6号レング倉庫で倉庫火災、約1000㎡焼損</p> <p>(5月)生田区港島5丁目C9バース奥村組現場事務所建物火災、100㎡焼損、死者1名、負傷者1名</p> <p>(6月)リガ市と姉妹都市提携</p> <p>(7月)貨物船「千歳川丸」45,796tが兵庫区和田崎町3丁目にて船舶火災</p>
---------------------------	---	--	---

昭和四十九年  
(1974年)

(10月)デンマーク船籍貨物船「マリットマーク号(7,135t)」が灘区摩耶埠頭第一突堤で船舶火災、負傷者1名  
(10月)葺合区小野浜町第8突堤E岸壁でイギリス船籍貨物船「ハーフォードシア号(11454t)」船舶火災  
(12月)ポートアイランドK.P.S屋外タンクで陥没事故

(3月)「クイーンエリザベス二世号(7万0327t)」初入港に対し、消防艇により歓迎放水

(3月)生田区港島7丁目ポートアイランドL6バースでオランダ船籍貨物船「ストラートナゴヤ号(12,123t)」が船舶火災、負傷者5名  
(5月)生田区新港町第1突堤C岸壁で貨物船「友信丸(2995t)」船舶火災  
(6月)イギリス船籍貨物船「アマラ号」10,031t とノルウェー船籍穀物運搬船「フェーンズブリング号(29,506t)」が衝突事故  
(9月)灘区摩耶埠頭第1突堤L岸壁でリベリア船籍貨物船「ヨハネスマークス号(6060t)」船舶火災、死者1名、負傷者1名  
(12月)東灘区魚崎浜町第1バースで韓国船籍貨物船「ドンクワン号(3999t)」船舶火災、負傷者3名



昭和五十年  
(1975年)

(5月)署長以下70名、消防艇2艇、救急艇1艇、消防車両2台、救急車1台、査察広報車1台、防火機動隊車1台、司令車1台の組織となる  
(5月)水上消防署本署で六甲アイランドの予防査察事務、警防事務開始

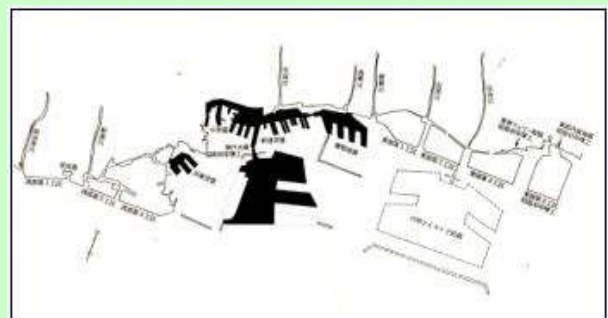
(3月)第三代化学消防艇「たちばな」就航式を開催(写真はテープカットを行う井尻助役)  
(4月)本署に第三代化学消防艇「たちばな(V型単胴鋼船 43・44t)」就航、第二代化学消防艇「くすのき」が予備艇となる  
(5月)第二代快速消防艇「たちばな」を姫路市消防局へ譲渡(写真は姫路回航時の惜別放水)

(5月)新神戸トンネル開通  
(7月)東灘区深江浜町甲南埠頭でパナマ船籍貨物船「セシラー号(13,192t)」が船舶火災、負傷者2名  
(8月)ポートアイランド北公園完成



昭和五十一年  
(1976年)

(6月)ポートアイランドで石油コンビナート総合防災訓練を実施  
(8月)水上消防署管轄区域に港島2丁目から7丁目まで、港島中町1丁目から8丁目までを加える



(9月)財団法人神戸市消防育英会設立

(1月)生田区東川崎町2丁目北浜岸壁でフェリー船「さんふらわあ号(11,323t)」船舶火災  
(2月)兵庫区和田崎町1丁目第5岸壁でオランダ船籍貨物船「ネダローン号(7243t)」船舶火災  
(3月)市営地下鉄名谷・新長田間開通  
(5月)兵庫区西出町1丁目油槽船「豊隆丸(1991t)」船舶火災

(1月)生田区東川崎町2丁目北浜岸壁でフェリー船「さんふらわあ号(11,323t)」船舶火災  
(2月)兵庫区和田崎町1丁目第5岸壁でオランダ船籍貨物船「ネダローン号(7243t)」船舶火災  
(3月)市営地下鉄名谷・新長田間開通  
(5月)兵庫区西出町1丁目油槽船「豊隆丸(1991t)」船舶火災

(1月)生田区東川崎町2丁目北浜岸壁でフェリー船「さんふらわあ号(11,323t)」船舶火災  
(2月)兵庫区和田崎町1丁目第5岸壁でオランダ船籍貨物船「ネダローン号(7243t)」船舶火災  
(3月)市営地下鉄名谷・新長田間開通  
(5月)兵庫区西出町1丁目油槽船「豊隆丸(1991t)」船舶火災

昭和五十二年  
(1977年)

(7月)領海12カイリが適用される  
  
(10月)ポートアイランド中公園  
開園



昭和五十三年  
(1978年)

(4月)第一回扇港賞を水上消防団員、水上消防署員に授与  
  
(6月)神戸市水上地区危険物安全協会設立  
  
(11月)中国航海学会港湾消防業務視察団が来署

(1月)初代救急救助艇「水光」廃船  
  
(4月)車両識別番号統一により、ポンプ車を「水上1」、「水上80」、「水上81」、救急車を「水上90」とする(写真は「水上1」)



(4月)灘区摩耶埠頭第2突堤でギリシャ船籍貨物船「ファルマウス号(9830t)」船舶火災  
  
(5月)葺合区小野浜町北岸壁で船「日東六一号(260t)」船舶火災  
  
(10月)みなと異人館(旧ヘイガー邸)がポートアイランド北公園に移築される



昭和五十四年  
(1979年)

(11月)海上防火パレードを実施



(4月)本署小型ポンプ車「水上1」更新、旧車両は「水上82」として配備継続(写真は新「水上1」)



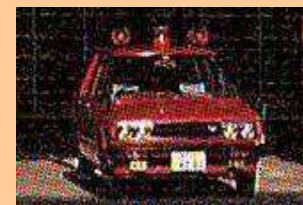
(3月)神戸港港湾殉職者顕彰碑がポートアイランド北公園に建立される  
  
(7月)灘区摩耶埠頭第四突堤P岸壁コンテナヤードでコンテナが爆発火災  
  
(9月)兵庫区築地町兵庫第2突堤P岸壁で韓国船籍貨物船「チュンボ号(514t)」船舶火災



(1月)救急統計をMS30コンピュータで電算処理開始  
  
(1月)移築された「みなと異人館」にて文化財防火デーに消防訓練を実施  
  
(4月)ポートピア博覧会消防対策本部設置(4月1日から56年9月30日まで)  
  
(4月)水上消防署本署新庁舎着工



(4月)船艇識別番号統一により消防艇を「水上38」、「水上39」とする  
  
(5月)本署の査察広報車を更新  
  
(12月)本署に指揮救援車「水上99」を配備

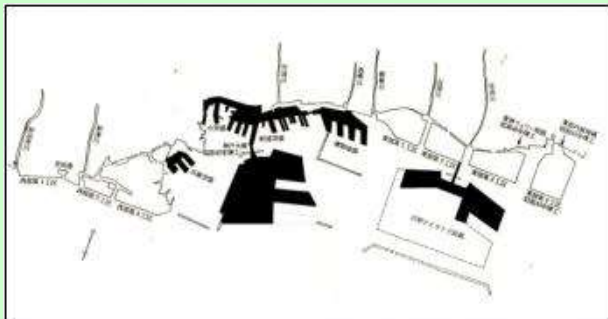


(3月)ポートピア博覧会起工式開催、港島公団住宅入居開始  
  
(4月)港島小学校、中学校開校  
  
(5月)ポートアイランド下水処理場完成



昭和五十五年  
(1980年)

(4月)水上消防署管轄区域に港島1丁目、向洋町東1丁目から3丁目まで、向洋町西1丁目から2丁目までを加える



(9月)自衛消防隊による第2回屋内消火栓競技大会を開催



(10月)石油コンビナート訓練を六甲アイランドで実施

(1月)中央区港島3丁目2番地に水上消防署本署を新築移転



(3月)ポートピア81開催期間中、博覧会場に消防車両が常駐する「消防センター」を設ける



(9月)水上消防署管轄区域のうち、神戸臨港線以南の部分から一般国道2号以南の部分に変更し、中央区東川崎町1丁目を削

(3月)本署に化学消防車「水上13」を配備



(4月)本署救急車「水上90」を更新



(4月)各消防署に出動を指令する消防本部の管制指令システムを更新



(6月)灘区摩耶埠頭第二突堤でギリシャ船籍貨物船「アイギス・ハイスパニック号(12498t)」船舶火災、負傷者1名

(7月)葺合区小野浜町篠崎倉庫新港営業所で倉庫火災

(8月)天津港と友好港提携

(11月)神戸国際展示場完成



(12月)中央区発足



(12月)神戸国際会議場完成



(2月)ポートライナー開通



(3月)新中央市民病院開設

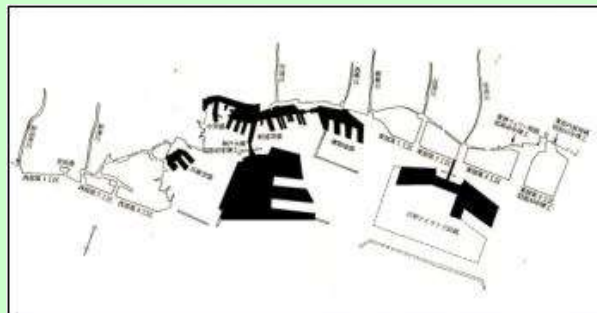


(3月)ポートピア81開幕



昭和五十六年  
(1981年)

り、港島8丁目を加える



(11月)ホテル、デパートなどに対して適マーク制度を開始



(11月)海上防火パレードを実施



(9月)本署の査察広報車を更新

(10月)兵庫区和田崎町1丁目第2ドックでパナマ船籍車両輸送船「サターンダイヤモンド号(11240t)」船舶火災

(11月)ポートアイランドスポーツセンター開設

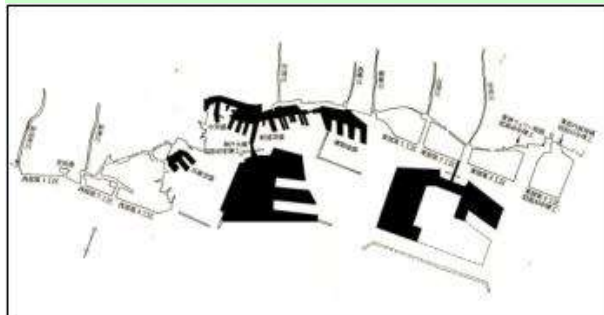


昭和五十七年  
(1982年)

(6月)査察時に一定の基準により減点し、その程度により警告、命令、告発する「減点告発制度」を運用開始

(9月)9月9日を「救急の日」に制定

(10月)水上消防署管轄区域のうち、向洋町西3丁目から6丁目までを加える



(3月)本署に第三代化学消防艇「くすのき(V型単胴鋼船133.72t)」就航



(3月)本署に32m級はしご車「水上17」を配備



(6月)第二代化学消防艇「くすのき」を長崎市消防局へ譲渡

(2月)兵庫区築地町第3突堤U上屋で倉庫火災

(3月)阪神外貿埠頭公団廃止、業務を神戸港埠頭公社が引き継ぐ

(4月)みなとじま会館竣工



(7月)ポートアイランド南公園開設



			<p>(8月)タンカー「近栄丸」992tと中国船籍貨物船「沪冷4号(999t)」が神戸沖で衝突し軽油320キロリットル流出</p>
<p>昭和五十八年 (1983年)</p>			<p>(1月)灘区摩耶埠頭第4突堤O岸壁で貨物船「スペイン丸(10787t)」船舶火災 (2月)中央区新港町第3突堤で韓国船籍貨物船「クローバー号(2436t)」が船舶火災</p> <p>(3月)神戸タグ協会がポートアイランドへ移転</p> 
<p>昭和五十九年 (1984年)</p>	<p>(11月)安心カード制度運用開始</p> 		<p>(3月)港島クリーンセンター完成</p>  <p>(4月)青少年科学館開設</p>  <p>(6月)港島自治連合協議会発足</p> <p>(10月)神戸ポートアイランドホール(ワールド記念ホール)開設</p> 
<p>昭和六十年 (1985年)</p>	<p>(4月)大卒、高専卒で航海、船舶機関の区分による消防職員採用を開始 (5月)ユニバーシアード消防対策本部設置</p>	<p>(12月)本署のはしご車「水上17」を30m級新型ジャイロに更新</p> 	<p>(4月)灘区摩耶埠頭第1突堤でリベリア船籍貨物船「ブラットエバレット号(6360t)」船舶火災 (4月)灘区摩耶埠頭第1突堤B岸壁で貨物船「ロスエバレット号(6178t)」船舶火災 (6月)第五管区海上保安本部、神戸海上保安部、神戸地方法務局、神戸植物検疫所、神戸運輸監理部、神戸地方海難審判所など、国の地方機関が入る神戸第2地方合同庁舎が開庁 (7月)プリズベーン市と姉妹都市提携</p>

昭和六十一年  
(1986年)

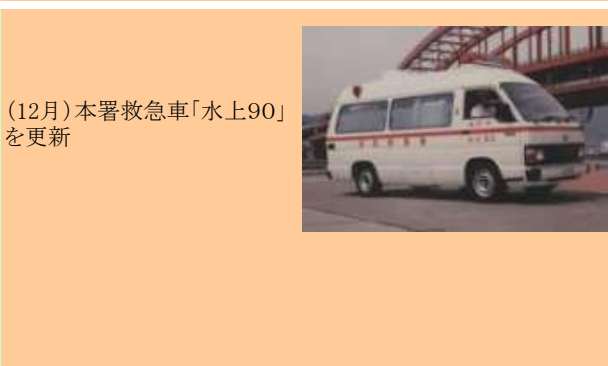
(7月)コウベグリーンエキスポ'85開幕

(8月)ユニバーシアード神戸大会開催、ポートアイランドスポーツセンター、ワールド記念ホール、神戸国際展示場などが会場となる

(10月)国道2号線浜手バイパス開通(写真はメリケンパーク付近)

昭和六十一年  
(1986年)

(12月)本署救急車「水上90」を更新



(10月)ケミカルタンカー「安晴丸(486t)」が東灘区六甲アイランド沖で爆発火災  
(10月)フィラデルフィア市と親善協力都市提携



昭和六十二年  
(1987年)

(1月)ポートアイランドで消防出初式を開催  
(3月)ポートアイランドに災害監視カメラを設置  
(11月)11月9日を「119番の日」に制定



(3月)市営地下鉄西神・山手線全線開通  
(4月)メリケンパーク開園、神戸海洋博物館開設  
(4月)神戸港開港120年祭開幕  
(10月)神戸港駅からハーバーランドまでの臨港鉄道が廃止される

(3月)市営地下鉄西神・山手線全線開通  
(4月)メリケンパーク開園、神戸海洋博物館開設  
(4月)神戸港開港120年祭開幕  
(10月)神戸港駅からハーバーランドまでの臨港鉄道が廃止される



昭和六十三年  
(1988年)

(1月)メリケンパークで消防出初式を開催  
(1月)4週6休制始まる  
(3月)中央区波止場町中突堤カーフェリー「あかつき」にて春の火災予防広報訓練を実施



(3月)本署ポンプ車「水上81」を資材搬送ポンプ車に更新

(3月)六甲アイランドで入居始まる  
(4月)北神急行鉄道開業  
(11月)中央区東川崎町3丁目第3ドックでリベリア船籍LPGタンカー「ワールドクリエーション号(43665t)」船舶火災  
(12月)神戸ヘリポート業務開始





昭和六十四年、平成元年  
(1989年)

(1月)元号が1月8日に「昭和」から「平成」に改元される

(3月)消防機動隊を中央区  
港島中町8丁目の神戸ヘリ  
ポートへ移転



(6月)フェスティック神戸大会消防対策本部設置

(9月)災害弱者・国際防災シンポジウムをポートアイランドの神戸  
国際会議場で開催

(12月)「浮き桟橋」を設置し、  
消防艇2艇を係留



(4月)神戸市制100周年記念式典開催

(5月)兵庫区西出町1丁目岸壁でLPGタンカー「第11星雲丸  
(2014t)」船舶火災

(9月)市役所新庁舎竣工



(9月)フェスティック神戸大会開催

(11月)ポートアイランドでファッションタウンが街びらき

注:参考文献は「神戸開港百年史(神戸市)」「区誌生田いまむかし(生田区振興連絡協議  
会)」「新中央区歴史物語(神戸市中央区役所)」「こうべ市制100周年記念誌(神戸市)」「神  
戸市文書館神戸歴史年表(神戸市)」「兵庫県警察史(兵庫県警察本部)」「神戸水上警察百年  
の歩み(神戸水上警察署)」「神戸外国人居留地(神戸新聞出版センター)」。参考文献及び写  
真出展は、「神戸消防-1958版10周年記念誌-(神戸市消防局)」「神戸消防のあゆみ-  
自治体消防発足30周年記念誌-(神戸市消防局)」「新たなる創造と親和力の結晶-自治体  
消防発足40周年記念誌-(神戸市消防局)」「五〇年の英知を明日の防災に(神戸市消防  
局)」など

SINCE 1950



〒650-0045  
神戸市中央区  
港島 3-2-2

電話 (078) 302-0119  
FAX (078) 303-3119  
E-MAIL fb\_suijyo-1@office.city.kobe.lg.jp  
WEB SITE <http://www.city.kobe.lg.jp/safety/fire/firehouse/suijo>



神戸市水上消防署 